

そよかぜ 10月園便り

令和2年10月1日(木)
西東京市立そよかぜ保育園

日の出の時間が遅くなり、早起きをするとまだ暗い空が広がっています。
長袖一枚では肌寒い日もあるほど...確実に秋は深まってきました。

そして今日は**中秋の名月**です。

「秋の七草」を飾り、お月様にお団子と秋の収穫物を供えます。

お団子は幼児クラス(3・4・5歳クラス)の子どもたちが作りました。

さて、毎年恒例のクイズのようになっていますが、「秋の七草」全部ご存知ですか？

「春の七草」は“せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ”とリズムに乗って覚えられますが(たぶん皆さんもこの順番で覚えているのではないのでしょうか)、「秋の七草」はなかなか出てこない・・・という方にそよかぜお勧めの覚え方を。

「お好きな服は(おすきなふくは)」

この七文字が頭文字になっています。

今日、幼児クラスは飾るお月見団子を作りました！

お...おみなえし
す...すすき
き...ききょう
な...なでしこ
ふ...ふじばかま
く...くず
は...はぎ



これできっと来年からは子どもたちにもしっかり教えてあげられますね！

こういった語呂合わせのような覚え方ははるか昔の学生時代にいっぱいあったなあと改めて思い返してみました。

- *なくようぐいす平安京　いいくにつくろう鎌倉幕府(歴史の年号)
- *ありおりはべりいまそかり(古典　ラ行四段活用)
- *ひとよひとよにひとみごろ(√2)
- *りしかそうかな　まああてにすんな　ひどすぎる　しゃっきん(イオン化傾向)

などなど。

確かに時を経てもこういった語呂合わせの言葉自体は頭に残っていますが、何一つ身になっていないという現実・・・。

改めて、今日の前にいる子どもたちには日々の様々な実体験を通して最後までやり抜く力、目標に向かって頑張る力、自己肯定感、コミュニケーション力、考える力など「生きる力」をしっかり身につけてほしいと切に願います。そして常に保育園がそういった力を育む場所でありたいと思います。

※「お好きな服は」は是非ご活用ください！

クラス通信



暑さも和らぎ、9月は松ぼっくり公園や、ひばりアム公園など、たくさん散歩に出かけました。公園に着くと、早速探検！葉っぱを見つけたり、バッタ、トンボなどを見つけると「あ！」と声を出し、ニコニコ笑顔で大人に知らせてくれます。色々な虫とも出会い、触ってみようと手を伸ばしたり、じっと見つめて興味深々。

これから深まる秋を見つけに Let's go !!!!!!!

散歩が心地良い季節になり散歩先では秋の自然に触れています。コスモスなどの草花を見たり、どんぐりを拾ったり季節の移り変わりを肌で感じました。

ねこじゃらしを見つけると手に取り、「まてまて～」とこしょこしょしながら追いかけて楽しんでます。

今月もたくさん散歩に出かけて、更に深まる秋を楽しみつつ、思いきり走って遊んでいきます。



涼しくなり、風が気持ちよく秋を感じますね。近くの公園に散歩に出掛けてしっぽ取り、ことりことり、かくれんぼなどたくさん体を動かして遊んでいます。“トントントン何の音”の遊びでは、木やベンチの後ろに集まり「ガチャガチャ」と鍵を閉める真似をし「しーっ！」と静かに隠れているすずめさん。“トントントン”と大人が聞くとドキドキしながら「何の音？」と聞き「風の音」「あ～良かった」と何度かやり取りを楽しみ、そのうちに「オオカミがきた音！！」と家の中に入り追いかけてくると「きゃあ～！！」と言いながら嬉しそうに逃げていますよ。

今月も散歩に出掛けてたくさん走り、どんぐりや松ぼっくり探し、落ち葉遊びも楽しんでいきます。

風に揺れている黄花コスモスを見て♪コ～スモス、コ～スモス、わ～らいんぼ、わらいんぼ、かーぜさんにいらっしゃってわーらう♪と歌いながら歩く子ども達。散歩先につくなりひばり組も「おおかみごっこしようよ」との声。「もう、カギをかけたからね、入れないよ」「いや、どうしても、入ってみせる」「どんどんどん！！」「きゃ～！」自分の膝より高い草の中を勢いよく逃げ回る姿は速いですよ。

「もう疲れた、タイム！」と涼しい場所に移ると「ぼた！ぼた！」と頭に当たるものが・・・。「あ～どんぐりだ！」♪どんぐりころころどんぶりこ♪と歌いながら、今度はどんぐり拾いに夢中。散歩に出かけるとしばらくはどんぐり拾いがブ～ムになりそうです。





朝夕の空の色や肌に触れる風に、季節の移り変わりを感じる頃になりました。「夏、終わった?」「もう秋かな?」と子どもたちの会話が聞こえた9月。朝お茶を飲み終わると「お花にお水あげてくる」「今日は雨だから、やらないほうがいいのか〜」と空を見ながら水やり。秋桜と向日葵も元気に咲いていて、観察しています。

天気の良い日には散歩にもたくさん出掛け、鬼ごっこやタッチリレーなど身体を動かして遊んでいきます。今月は秋を感じられる行事もあるので楽しみですね。

元気よく咲いていたヒマワリが下を向き、「夏終わったもんね〜」など会話をする姿がありました。

風が吹き、「気持ちいいね!」と散歩に行く足取りも軽やか♪縄跳びを持っていき、みんなで跳んだり、広い野原を全力で走り縄跳びして楽しんでいます。

ひばり組さんやつばめ組さんともお散歩に出掛けました。道中は「はやぶさはこっちだよ」と年長さん同士で声を掛け合って道路側を歩いたり、歩くペースを合わせてあげていました。公園でも自然と一緒にシーソーに乗って遊んでいたりと、さすが年長さん!!

今月は運動会や遠足も行くので、楽しみがいっぱいです!



HP 情報

そよかぜ HP 内で毎週 Blog を載せていますが、月に一度、各クラスの様子を写真と共に載せています。是非ご覧ください。

※9月は“〇〇の秋”をテーマに各クラスの様子が掲載されています

10月 園行事のお知らせ

1日(木) お月見会

14日(水) 運動会リハーサル(幼児)・布団乾燥

17日(土) 運動会(幼児)

23日(金) 避難訓練

27日(火) 誕生会

※誕生会、お月見会は各クラスで行います

抜けるような青空 実りの秋到来 梨や柿 栗にきのこ、新米の香りに魅せられてお替り！
至福の時間ですね。

秋の夜長 虫の声を聴きながら

「絵本とは 『言葉の未熟な幼い子のために絵を添えてわかりやすくしたもの。』 といって先入観にとらわれている大人が大半を占めているように見える。それは間違いだ。

絵本は、生きることや、人生や、対人関係について、基本的に大事な事を忍ばせている表現ジャンルなのだ。人生経験を積むほどに、絵本が秘めている深い語りかけに気づいていく。

人生で大事な事は、すべて絵本から学べるといってよい。」

・・・柳田邦夫＝生きる力、絵本の力＝より

子どもは、7・8歳位になるまでは、現実の世界とフィクションの世界を自由に行ったり来たりしています。読む人がしっかりと思いを込めて読んでいると、その人の気持ちが伝わり、仕草や声をとおして、絵本で語られる物語が、現実感をおび、情感をくすぐり、自分が体験しているかのように記憶されていきます。繰り返し語られる中で、思いは膨らみ、細かい絵の面白さを発見し、絵本の世界に引き込まれ、いつしかその世界に浸っています。

今 子どもも大人も言葉を交わし、自己を表現し、気持ちを伝えあうことが下手になっています。

「絵本は人生に三度」と柳田氏は言われます。一度目は幼い頃沢山読んでもらったことでしょう。そして今は子どもたちにせがまれ、時間を割いて読んでおられることでしょう。

自分自身の為にとちょっと時間を作って絵本を開いてみませんか。ゆっくりと声に出して読み、絵の隅々まで見つめてみましょう。きっと 新しい出会いがありますよ。

職員のつぶやき

私は小さい頃“超”がつくほどの偏食で、好き嫌いが激しく、小学校の給食の時間がとても嫌でした。そんな偏食少年は青年となり 18歳の時に親元を離れて専門学校に通うために上京。

一人暮らし最大のメリットは、自分の好きなものを好きなだけ作って食べることや、毎日外食ができることだと考えていました。体重が数ヶ月で 10K 増えたこともあります。保育園に就職して、仕事をしている時は、目の前に給食を食べてくれる園児がいるので当然ですが、“食”のプロとして前向きに真摯に働いてきました。が私生活は、相変わらず荒れた食生活でした。

そんな中で結婚し、家で一緒にご飯を食べてくれる人ができ、「こんな食生活ではダメ！」と強く思い、園児に思う感覚と同じように「良い物・安全な物を食べてもらいたい。」と感じました。スーパーで買い物をする時に、食費は安く抑えたいけど、安いものは不安だな？ 高いものは本当に安心・安全なのか？ そもそも安心基準は？？？と疑問が湧いてきます。 オーガニック 天然物 国産 コンビニ 弁当 ファストフード 激安スーパー 外国産の物…こだわれば青天井、何でもよかったら底なしで、日本は食に困らない国で、食に溢れています。情報すらも溢れている中で、自分が何を信じ、何を選んでいくか、しっかりとした考えを持ち、“食”と向き合って生きることが大切だと改めて考えました。

“食べることは生きること” これを永遠のテーマの一つとして、丁寧に仕込みをし、じっくりと時間をかけ、“人生”というスープを完成させようと思っています。

みどり保育園 栄養士 高橋 響平